

# 特定非営利活動法人陽和一周年記念シンポジウム

どの子ども大切に 明るい未来の実現に向けて

「今の私たちに  
何ができるのか」

2022年

5月22日(日)

10:30 ~ 17:00 (10:00 受付開始)

ウィルあいち・ウィルホール  
(愛知県名古屋市東区上堅杉町1番地)

参加無料

オンライン (Zoom)  
参加可能

愛知を代表する支援団体代表のディスカッション  
虐待・非行経験のある少年・少女のスピーチ  
当事者・支援者のリアルな声を聞き  
私たちに何ができるのか  
これからの未来を共に考えるシンポジウムです

※オンラインは  
第二部からになります。

## プログラム

10:00	【第一部】 受付開始
10:30	開会
10:40	映画「旅のはじまり」上映 ※詳細は下部参照
13:00	【第二部】 [基調講演] 大村恵氏 (愛知教育大学教授) 「社会教育から見た共生社会のあり方」
13:45	休憩
14:00	支援団体によるパネルディスカッション
15:30	少年のスピーチ
16:00	大村恵氏による総括
16:10	渋谷幸晴「明るい未来の実現に向けて」
16:30	閉会

## 映画「旅のはじまり」



虐待やネグレクト、非行などにより『居場所』を失った子どもたちの「心」に迫る。  
そして自身の経験から、  
当事者の心で子どもたちを守ろうとする大人たちの姿を取材。  
大人を信じられない子どもたちの心はどんな変化を見せるのか。  
子どもたちの悲痛な叫び、親の本音も交えながら、  
彼ら彼女だけの責任なのかを社会に問う。

家庭環境にめぐまれなかった子どもたちが  
自立にむけて歩いていく様子、  
それを支える大人たちに密着取材した本作。  
それぞれの子どものに必要なサポートの形。  
一人一人にどれだけの大人が関わってこれたのか、  
深く抱きしめてくれる人はいたのか。  
血のつながりを超えて支え合う社会を目指して。



## お問い合わせ

NPO法人



特定非営利活動法人陽和

☎ 052-893-9899

✉ npo.hiyori8@gmail.com

## 申し込み方法

参加申込みフォームにてお申込み下さい。  
メールでも申込み可能です。ご不明な点がございましたら、  
お電話・メールにてお問合せください。

○右のQRコードを読み取るとお申込みページに移動できます



●主催● 特定非営利活動法人陽和  
●後援● 愛知県 名古屋市 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 愛知県社会福祉協議会 名古屋市社会福祉協議会





## 大村恵 愛知教育大学教授・あい子どもNPOセンター代表理事

1960年、三重県伊勢市生まれ。大学院生のころから、名古屋市の青年大学講座、青年の家の学級講座、青年のサークル連絡協議会等の青年活動・生活史学習に講師・助言者として参加。2000年代に入って豊田市子ども条例づくりに参加して以来、子どもの権利を地域の中で実現するための条例づくり、「子どものまち」づくり、子ども・子育て支援NPOの活動に参加。親はなくても子は育つ。でも、社会がなくては子どもは育たない。地域の中に、子ども・青年が育っていく環境を作り出すことを研究と生活のテーマにしている。

■著作「社会教育における子ども・青年の人格形成支援の方法と支援者養成」『日本社会教育学会年報第61集』、2017年  
「地域社会教育の実践と課題—子どもと青年の人格形成支援」『世界の生涯学習 現状と課題』、大学教育出版、2016年



## 荒井和樹 全国こども福祉センター理事長・中京学院大学専任講師・社会福祉士・保育士・児童養護施設在職中

社会制度の枠組みから外れる子ども若者と出会い、2012年に全国こども福祉センターを設立。きぐるみがトレードマークで着ぐるみ姿の子どもたちと繁華街で対話や交流を目的として声かけ活動を続ける。不登校やひきこもり、ホームレス、非行など問題の有無や違いにかかわらず、「出会う」ことから始める。子どもたちを支援や保護の対象（客体）として捉えるのではなく課題解決の主体として迎えている。10年間で約2万人の子ども・若者に活動できる環境を提供。

■著書『子ども・若者が創るアウトリーチ』（ISN）



## 対馬あさみ 「NPO法人太陽の家」理事長・「三重こども食堂ネットワーク」代表

子ども食堂、フードバンク、シングルマザー支援、学生ボランティアフェスティバル、子どもアドボカシー等を実施。子ども達の居場所づくりと食を中心とした子育て家庭の支援を行う。2015年の11月に「きみを、あなたを、ひとりにはない」を合言葉に、生活の困窮やしんどさを抱えた家族、家や学校に居場所のない子どもたちを対象に、物心両面での支援を行う「太陽の家」をスタート。翌年2016年の3月からは三重県初のこども食堂を始める。現在は、子ども向けに10代の無料カフェ・学校内での居場所カフェ・学習支援を行い、子育て家庭向けには、個別家庭への食糧支援・ひとり親家庭へのフードパントリー・食事会や相談会などを行っている。その他、子ども食堂の立ち上げ支援や子ども支援団体のネットワーク作り、子どもの人権講座、フォーラムなどでの講演活動を行なっています。



## 星野智生 一般社団法人愛知PFS協会代表理事・名古屋みらい高等学院 学院長

これまでに3,000人以上の子どもと関わりアウトリーチによる支援は述べ1万件を超える。不登校やひきこもりの相談を中心にいじめや非行、虐待、障害によるものなどその実態は多岐に渡る。専門性より関係性を重視した関わりを大切にしている未来へ希望が持てない子ども達に対して、学ぶことをあきらめなくて欲しい、生きることをあきらめなくて欲しいと願い、どんな状況であっても支援の手を差し伸べていける仕組み（断らない支援）を作っていきたいと考え、2014年から活動を続けている。未来を選択するのは子ども達自身かもしれないが、将来に対しての不安やあきらめを持ってしまった子どもに対して未来を示していくのは、大人や地域、社会の責任だと考え、子ども達と日々向き合っている。



## 大村順 絆画作家

1985年生まれ愛知県出身。高校卒業後の2003年より似顔絵師として年間1万人の似顔絵を描く。親友との死別をきっかけに2017年から絆画を描き始め「絆画作家」として生涯をかけて描き続けることを誓う。「今、亡くなったあの人が生きていたら」その願いとご遺族に1枚の絵で寄り添う絆画（きずなえ）という活動をしている。この絆画で、ご遺族の大切な人を失ってから空白の時間が少しでも埋まって、これからの人生を少しでも豊かに過ごしていただけたらと思って活動している。現在は、絆画作家として接してきたご遺族から感じた「命の大切さ」を伝えるため、遺後（命）の授業と題して、学校や企業で絵の展示と講演もしている。

■CBCドキュメンタリー「亡き人と紡ぐ『未来の思い出』」絆画」・故人と遺族の絆を繋ぐ絵師



## 竹内亜沙美 特定非営利活動法人障がい者みらい創造センター理事長

障がい者に関わる社会問題が数多くあることを知り、社会を変えるために現職の教諭でありながら「特定非営利活動法人障がい者みらい創造センター」を設立。もっと多くの障がいがある子供たちを支援したいと考え、公務員を退職して就労支援に特化した放課後等デイサービスを開所した。障がいの有無に関わらず人生の選択肢を増やすことが豊かな社会の創造に繋がると考え、中高生向け就労支援教室や、生活力向上型ショートステイ、働きながら就職を目指すカフェ magnet と SDGs ギフト紅茶 LATTICE を運営している。

■2018年人間力大賞にて厚生労働大臣賞を受賞

■2019年上期女性社長 TOP 5

■2020年愛知イノベーションベースピッチ大会優勝



## 籠谷倫親 N hermitclub 代表・亀甲仙 代表

高校時代に不登校や二十代半ばでネットゲーム引きこもりになり、社会と乖離した経験を経て、コンドームの着ぐるみ『秘忍者ジミー・ハットリ』君と共に HIV 感染拡大防止の啓発と『望まない妊娠・出産』からの児童虐待防止の啓発をしている。AIDSの予防啓発のシンボルがレッドリボン、児童虐待防止のシンボルがオレンジリボンであったため、2色のリボン運動をテーマとし2015年から活動を開始。現在では人と人を繋ぐ活動を中心とし、各々がお互いの活動を知り、共に手を繋ぎ合って活動することで、問題の解決になると考えている。引きこもりの支援の時には『この子達が大人になったら働ける場所をつくりたい!』と思い、唐揚げの『亀甲仙（キッコウシエン）』を始める。AIDS文化フォーラム in 名古屋を9月に開催予定。



## 蛸沢光 NPO法人ひだまりの丘副理事長・事務局長・NPO法人なごやかサポートみらい理事長・日本デザイナー芸術学院非常勤講師

7歳から18歳までの10年間に児童養護施設で過ごし、その後大学へ進学。卒業後は学童保育所へ就職。NPO法人ひだまりの丘では、人が持っている力をより良く発揮するを理念に、名古屋市中村区・中川区で育児支援（ベビーシッター、保育園等）、教育支援（社会的養護）社会支援（虐待予防、居場所）を行っている。一方NPO法人なごやかサポートみらいでは、社会的養護の子どもたちの自立支援を行う当事者主体の団体で、2016年9月には自立援助ホームを設立、運営をしている。

コーディネーター

【その他】

◎親子室がありますので、ご希望の方はご連絡下さい。（先着3組）

◎新型コロナウイルス対策へのご協力をお願い

入場時の検温により、体温が37.5℃以上の方、風邪の症状（せき、のどの痛み）がある方はご入場はお控え願います。

場内でのマスクの着用、入場時は、手の消毒にご協力をお願いいたします。

※開催内容が一部変更になる場合も御座います。

NPO法人



特定非営利活動法人陽和

〒468-0004

愛知県名古屋市中白区梅ヶ丘三丁目 1802-211

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください